

事例発表

大分県における総合型地域スポーツクラブ とスポーツ推進委員との関係について

大分県スポーツ推進委員協議会 会長 土谷 忠 昭

総合型地域スポーツクラブの現状(全18市町村に設置)

創設済みクラブ 42 創設支援クラブ 2 (リーフレット参照)

(このうち、1クラブのみ、2クラブを統合する。)

三者の連携
三者会議

県体育保健課(生涯スポーツ担当4名うち2~1名が専任)

(広域スポーツセンター併設)県費補助事業実施

創設・自立支援事業、総合型クラブ育成

市町村指導

県体育協会(重点事業にクラブ位置付け)(クラブアドバイザー)

創設・自立支援事業、既存クラブ

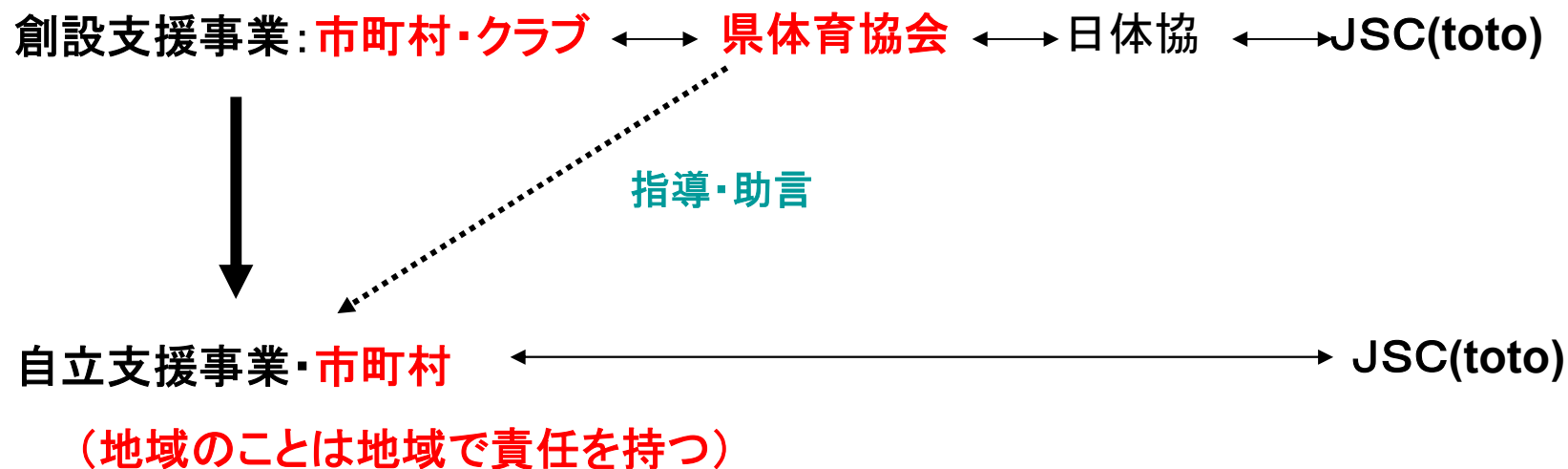
総合型クラブ育成指導

総合型クラブSCネットワーク 主催事業(研修会、交流会)

情報提供、クラブ指導

* 創設支援事業(設立準備委員会)に対しては、県(広域スポーツセンター)、県体育協会(アドバイザー)が必ず参加する。内容によっては、SCネットワーク代表も参画する。

市町村行政と総合型地域スポーツクラブ



* 県体育保健課から市町村に対してスポーツ推進計画の策定と総合型スポーツクラブの育成を指導。

スポーツ推進委員と総合型クラブ

全国の状況

・全国スポーツ推進委員連合の調査（平成25年10月）

1716市町村中 → 協議会関与：379 個人関与：701 参画関与なし：67

全国スポーツ推進委員連合リーダー研修会で推進委員の関わりについてディスカッション →

各県で温度差がある。県教委、県体協、SCネットワークの連携も同様である。

大分県の状況

- ・ 創設支援、育成・自立支援の事業に関わる
- ・ スポーツ推進委員が設立準備委員、設立後の役員
- ・ 44クラブ中43クラブは設立準備委員会の段階から関与(1クラブのみ関連がない)
- ・ 県スポーツ推進委員協議会運営方針の「具体的な取り組み」に設定
- ・ スポーツ推進委員・SCネットワーク代表が県スポーツ推進審議会員に就任